

平成 30 年 2 月 16 日

各 位

営業店事務の改革への取り組みについて ～セミセルフ端末の試行開始～

フィデアホールディングス株式会社（本社 宮城県仙台市、代表執行役社長 田尾 祐一）およびフィデアグループの株式会社荘内銀行（本店 山形県鶴岡市、取締役頭取 上野 雅史）、株式会社北都銀行（本店 秋田県秋田市、取締役頭取 斉藤 永吉）は、営業店事務の効率化とお客さまの利便性向上に向けて、セミセルフ端末（愛称：クイックカウンター）を活用した営業店事務改革に着手いたしましたのでお知らせいたします。

フィデアグループは、第3次中期経営計画において、コンサルティング営業の実践と筋肉質な経営体質の構築を目指し、店頭業務を中心とした営業店事務の合理化に取り組んでいます。

営業店事務の効率化策の中心となるクイックカウンターは、通常窓口セミセルフ端末を併設するものです。行員がお客さまをサポートのうえ現金の入出金やお振込みをお申込みいただくほか、税金や公共料金のお支払いの際に発生する各種伝票のご記入を不要にするなど、店頭業務の効率化にとどまらず、窓口でのお客さまのご負担軽減にもつながるものです。

平成 30 年 2 月 13 日より、北都銀行秋田西支店（秋田県秋田市）においてクイックカウンターの試行を開始いたしました。今後は、お客さまのご利用状況などを見極めながら、荘内銀行を含む両行本支店への導入や、より高度なソリューションの活用を検討してまいります。

フィデアグループは、引き続き、業務効率化による事務時間の削減を進め、営業店におけるコンサルティング対応力の強化につなげてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

IRグループ 大石、事務企画グループ 星野 （電話 022-290-8800）